

2026年度 シラバス

横浜ベルエポック美容専門学校

学科・コース		美容師科		学年	I	開講 区分	前期	担当教員	
授業科目名		西島 明菜							
美容技術理論				必修 選択	必修	授業 形態	講義	時間数	30
[授業の学習内容と心構え] (実務経験のある教員・知見を有する教員がどのような授業を実施するのかを具体的に記載する)									
美容師実務経験15年以上を有し、美容技術理論・衛生管理・香粧品化学・運営管理の教員資格を取得、現在もサロンで若手教育に携わっている講師が担当します。 美容の基礎知識であるため、内容を理解できるよう、パワーポイントやプリントなどを用いて授業を進めていき、演習問題を解きながら授業を展開します。									
[到達目標]									
実際にサロンでも活かせるよう、用語・施術の流れ・薬剤の取り扱いを理解する。 国家試験に向けて、4択問題が解けるようになり、誤文訂正ができるようになる。									
[使用教材、参考文献等]					[準備学習・時間外学習]				
美容技術理論Iの教科書・プリント(授業に応じて配布)									
回	[授業概要]					到達目標(できるようになること)			
1	美容技術理論を学ぶにあたって・美容用具					人体各部の名称・用語を覚え、空欄問題が解けるようにする。			
2	美容用具					シザー・レザー・ヘアアイロンの各部の名称用語を覚え、空欄問題が解けるようにする。			
3	シャンプーイング					シャシャンプーの成分・種類について理解し、4択問題、誤文訂正ができるようにする			
4	シャンプーイング					リンス・コンディショナー・トリートメントの種類・国試によく出る手技を理解し、4択問題、誤文訂正ができるようにする。			
5	ヘアデザイン					錯視の種類・デザインの要素・デザインの原理の要点を理解する 4択問題、誤文訂正ができるようにする			
6	ヘアカッティング					ヘアカットの基礎理論を理解する。(道具・分類・美容刃物・スライス・パネルと頭皮の角度) 4択問題、誤文訂正ができるようにする			
7	ヘアカッティング					ベースカット技法(シザー・レザー)について理解し、4択問題、誤文訂正ができるようにする。			
8	中間試験					1～7回までの内容(美容用具～ヘアカッティング)の内容で出題 解けなかった問題も復習し、誤文訂正ができるようにする。			
9	パーマネットウエービング					パーマの歴史・理論・種類について覚え、4択問題、誤文訂正ができるようにする			
10	パーマネットウエービング					パーマの工程を覚え、4択問題、誤文訂正ができるようにする			
11	ヘアセッティング					ブロー・ヘアセット・ヘアカーリング基礎理論を覚える 各部の名称・種類・分類システムの角度・方向の4択問題を解けるようにする			
12	ヘアセッティング					ヘアウエービングの基礎理論を理解する 各部の名称・種類・分類システムの角度・方向の4択問題を解けるようにする			
13	ヘアカラーリング					ヘアカラー理論・ヘアカラーの色の基本・薬剤の取り扱いについて理解する 4択問題、誤文訂正ができるようにする			
14	定期試験					前期の内容から出題			
15	定期試験テスト返却・解説・美容技術理論Iまとめ					間違ったところをチェック、誤文訂正をし、覚えなおす。			
[特記事項・授業時間外における学習]					[成績評価の方法と基準]				
					●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)				
					●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 中間試験50点、期末試験50点、筆記試験にて採点を行う。				

2026年度 シラバス

横浜ベルエポック美容専門学校

学科・コース		美容師科		学年	I	開講 区分	前期	担当教員	
授業科目名		運営管理						高橋由香	
		必修 選択	必修	授業 形態	講義	時間数	30		
〔授業の学習内容と心構え〕（実務経験のある教員・知見を有する教員がどのような授業を実施するのかを具体的に記載する）									
高等学校第1種免許（公民）取得。大学卒業後、一般企業に勤務。5年間の実務経験を経て着付け教授免許を取得し、美容師養成施設でもの着付け、運営管理、関係法規の講師に従事。また着付け・組紐教室を開業し着付師の業務も行う経営者が授業を行う。									
〔到達目標〕									
社会人（美容師）に必要な基本的な知識を身に付ける。様々な立場からの「物の見方・考え方」ができるように視野を広げる。世の中の変化と競争に対し、柔軟な対応ができる社会人（美容師）になる。									
〔使用教材、参考文献等〕					〔準備学習・時間外学習〕				
運営管理									
回	〔授業概要〕				到達目標(できるようになること)				
1	本科目の説明 経営とは・経営者とは				どのような授業なのか、どのように評価されるのかを知ることができる 「経営」「経営者」などの用語が理解できる				
2	理容業・美容業の経営について				美容業の現状を知ることができる				
3	資金管理（収支・損益・コスト・税金）				資金管理が重要なのか理解できる 利益の仕組みと納税について理解できる				
4	人という資源・労働者の権利				労働者の権利が理解できる				
5	従業員としての視点から・社会人としての責任 社会保険①（公的年金）				公的年金の内容を知る				
6	社会保険②（健康保険・国民健康保険・介護保険）				医療保険の種類と内容を知る				
7	社会保険③（労働保険）				労働保険の種類と内容を知る				
8	健康・安全な職場環境の実現・美容の仕事と健康問題				美容業を長く続けるためにの健康問題が理解できる				
9	サービス・デザイン				サービスとは何か、システムとは何かを理解できる				
10	サービス・マーケティング				美容業のマーケティングを知る				
11	サービスにおける人の役割・接客の実践				接客の本質が理解できる				
12	接客の実践・接客におけるトラブルと対応				接客においてのトラブルを心得ることができる				
13	総まとめの練習問題（期末試験対策）				練習問題を通して、教科書の内容が理解できる				
14	定期試験				期末試験で満点を取る				
15	定期試験の振り返り				国家試験のために何をすればよいかわかる				
〔特記事項・授業時間外における学習〕					〔成績評価の方法と基準〕				
					●評価 A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点）/D評価（60～69点） E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格）				
					●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 期末試験100点、(筆記試験)にて採点を行う。				

2026年度 シラバス

横浜ベルエポック美容専門学校

学科・コース		美容師科		学年	I	開講区分	前期	担当教員 神谷/阿部/高橋(主)/高橋(雅)/飯野/金谷/張/佐々木	
授業科目名				必修選択	必修	授業形態	実習	時間数	300
美容実習									
〔授業の学習内容と心構え〕(実務経験のある教員・知見を有する教員がどのような授業を実施するのかを具体的に記載する) 現役美容師または実務経験3年以上の講師が、「サロンワーク」「ワインディング」「シャンプー」「カット」「カラー」「ドライ・スタイリング」の基礎技術・知識から応用まで実践を交えて習得できる授業を行う。									
〔到達目標〕 美容業のアシスタントとして必要な基礎知識・技術・態度を身につけることができる。また、接客業の基本である挨拶、清掃を学ぶ。 また国家試験課題の基礎技術を習得し、国家試験合格への基盤を作る。									
〔使用教材、参考文献等〕					〔準備学習・時間外学習〕				
回	〔授業概要〕					到達目標(できるようになること)			
1.2	ワインディング、道具について、国家試験の科目についての説明					ワインディングとは何かを理解し、道具の種類、使い方を覚える。国家試験に関して理解する			
3.4.5.6	ブロッキング					コームの使い方を理解し、9ブロック取れるようにする			
7.8.9.10	ブロッキング 下巻き					ロッド、ペーパーのみで、正しい手法でロッドを巻き込めるようにする			
11.12.13.14	ブロッキング 下巻き 角度の説明					ロッド、ペーパーのみ→髪の毛を入れて巻く→センターピンク、黄色、ブルーを下巻きで巻き上げる センターの下巻きを1本ずつタイム内で巻けるようにする			
15.16.17.18	ブロッキング 上巻き					ロッド、ペーパーのみで、正しい手つきでロッドを巻き込めるようにする。ロッド、ペーパーのみ→髪の毛を入れて巻く→センターオレンジを上巻きで巻き上げる			
19.20.21.22	ブロッキング 上巻き					センターの上巻きを1本ずつタイム内で巻けるようにする			
23.24.25.26	ブロッキング 各パーツ					タイム内で巻けるようにする			
27.18.29.30	ブロッキング5分 全頭45分 定期試験 試験振り返り					定期試験100点			
31.32	授業内容の説明・カット技術におけるクランプ・はさみ・コーム等の名称及び取り扱い方					はさみの持ち方及び開閉練習			
33.34.35.36	ウィッグカット(ワンレングス・ボブ・台座下) 展開図説明・切り方手順					技術の基礎修得			
37.38.39.40	ウィッグカット(グラデーションボブ) 展開図説明・切り方手順					技術の基礎修得			
41.42.43.44	ウィッグカット(ショートレイヤー)					技術の基礎修得			
45.46.47.48	ヘアカラーの構造説明と塗布技術の基礎 塗布練習					ヘアカラーの基本と府技術の習得			
49.50.51.52	全頭根本リタッチオンカラー 毛先ブリーチ					ムラなく塗布する技術の習得			
53.54.55.56	全頭ブリーチ ポイント・アンブレラ・インナーブリーチ					技術の基礎修得			
57.58.59.60	全頭ブリーチ 事由課題制作 定期試験 定期試験振り返り					定期試験100点			
〔特記事項・授業時間外における学習〕 評価方法 タイム内50点 再限度50点					〔成績評価の方法と基準〕 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 期末試験100点、(演習)にて採点を行う。 各定期試験評価を合算し、科目の評価を行う。				

2026年度 シラバス

横浜ベルエポック美容専門学校

学科・コース		美容師科	学年	I	開講 区分	前期	担当教員	
授業科目名							神谷/阿部/高橋(主)/高橋(雅)/飯野/金谷/張/佐々木	
美容実習			必修 選択	必修	授業 形態	実習	時間数	300
【授業の学習内容と心構え】(実務経験のある教員・知見を有する教員がどのような授業を実施するのかを具体的に記載する)								
現役美容師または実務経験3年以上の講師が、「サロンワーク」「ワインディング」「シャンプー」「カット」「カラー」「ドライ・スタイリング」の基礎技術・知識から応用まで実践を交えて習得できる授業を行う。								
【到達目標】 美容業のアシスタントとして必要な基礎知識・技術・態度を身につけることができる。また、接客業の基本である挨拶、清掃を学ぶ。 また国家試験課題の基礎技術を習得し、国家試験合格への基盤を作る。								
【使用教材、参考文献等】					【準備学習・時間外学習】			
回	【授業概要】				到達目標(できるようになること)			
61.62	機材の名称 使用方法の理解				機材を正しく扱うことができる			
63.64.65.66	シャンプークロスのかけかた、シャンプー台の使い方				クロスのかけかたとシャンプー台の使い方を知る			
67.68.69.70	バックシャンプー				バックシャンプーの手順を理解する			
71.72.73.74	バックシャンプー				バックシャンプーの手順を理解する			
75.76.77.78	バックシャンプー				バックシャンプーの手順を理解する			
79.80.81.82	サイドシャンプー				サイドシャンプーの手順を理解する			
83.84.85.86	サイドシャンプー				サイドシャンプーの手順を理解する			
87.88.89.90	定期試験 定期試験振り返り				定期試験100点			
91.92	道具の説明 ハンドブローベアシック				頭の形、生えぐせによるドライの仕方が理解できる、ハンドブローの注意点の理解			
93.94.95.96	ハンドブロー ロールブラシ				ブラシの理解、風の当て方の理解、温度の理解			
97.98.99.100	ハンドブロー ロールブラシ 人頭				はえ癖の応用、テンションの理解			
101.102.103.104	ストレートアイロン基礎				アイロンの角度、入れ方、当て方の理解			
105.106.107.108	ストレートアイロン基礎 人頭				アイロンの角度、入れ方、当て方の理解、熱くないかの確認			
109.110.111.112	ストレートアイロン応用 ワンカール				アイロンでワンカール			
113.114.115.116	ストレートアイロン 応用 波巻き				アイロンでの波巻き、スパイラル			
117.118.119.120	定期試験 定期試験振り返り ヘッドスパについて				定期試験100点 ヘッドスパの気持ちいいポイントの理解			
【特記事項・授業時間外における学習】 評価方法 タイム内50点 再限度50点					【成績評価の方法と基準】 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 期末試験100点、(演習)にて採点を行う。 各定期試験評価を合算し、科目の評価を行う。			

2026年度 シラバス

浜浜ベルエポック美容専門学校

学科・コース		美容師科		学年	I	開講 区分	前期	担当教員 神谷/阿部/高橋(主)/高橋(雅)/飯野/金谷/張/佐々木	
授業科目名				必修 選択	必修	授業 形態	実習	時間数	300
美容実習									
【授業の学習内容と心構え】(実務経験のある教員・知見を有する教員がどのような授業を実施するのかを具体的に記載する)									
現役美容師または実務経験3年以上の講師が、「サロンワーク」「ワインディング」「シャンプー」「カット」「カラー」「ドライ・スタイリング」の基礎技術・知識から応用まで実践を交えて習得できる授業を行う。									
【到達目標】 美容業のアシスタントとして必要な基礎知識・技術・態度を身につけることができる。また、接客業の基本である挨拶、清掃を学ぶ。 また国家試験課題の基礎技術を習得し、国家試験合格への基盤を作る。									
【使用教材、参考文献等】					【準備学習・時間外学習】				
回	【授業概要】					到達目標(できるようになること)			
I 21. I 22	授業説明、受付・セット面への誘導の仕方。自分履歴カルテ作成。掃除の仕方					準備・片付けが出来るようになる			
I 23. I 24. I 25. I 26	前回の復習・セット面誘導。タオル、クロス掛け、カウンセリングの仕方練習					誘導の仕方・カウンセリングの仕方や言葉遣い等意識できるようにする			
I 27. I 28. I 29. I 30	相モデルでトリートメント・ヘッドスパの施術					トリートメント・ヘッドスパの施術を覚える			
I 31. I 32. I 33. I 34	来店からカウンセリングでメニュー決め、施術、退店までの実践					クロスのかけかたとシャンプー台の使い方を知る			
I 35. I 36. I 37. I 38	グループに分かれサロン運営練習					バックシャンプーの手順を理解する			
I 39. I 40. I 41. I 42	グループに分かれサロン運営練習					サイドシャンプーの手順を理解する			
I 43. I 44. I 45. I 46	ゲストを呼んでサロン運営					シザー、コーム、ウィッグの取り扱いを知る			
I 47. I 48. I 49. I 50	ゲストを呼んでサロン運営 定期試験 定期試験振り返り					カットの基礎技術ができるようになる			

2026年度 シラバス

横浜ベルエポック美容専門学校

学科・コース		美容師科		学年	I	開講 区分	前期	担当教員	
授業科目名		講読演習						沖 将孝	
		必修 選択		必修		授業 形態	演習	時間数	30
〔授業の学習内容と心構え〕（実務経験のある教員・知見を有する教員がどのような授業を実施するのかを具体的に記載する） 美容師免許、サロンでの実務経験を有した教員が担当する。自己分析やグループワークを通して周囲と協力しながら主体的に行動することで、 職業人として必要なコミュニケーション力を身につける。									
〔到達目標〕 自分の強みを理解し、自己受容ができるようになる。 他者との違いを認識し、他者理解力を高めることができる。									
〔使用教材、参考文献等〕					〔準備学習・時間外学習〕				
回	〔授業概要〕					到達目標(できるようになること)			
1	コミュニケーション力向上の為のグループワーク/サポートアンケート/ポートフォリオ					2人でコミュニケーションが取れるようになる			
2	コミュニケーション力向上の為のグループワーク/ITリテラシー					コミュニケーション時話しの聞き方、話し方に留意できるようになる			
3	コミュニケーション力向上の為のグループワーク/GW課題					GWに向けて美容に関する資料集めの準備をする			
4	GW明けコミュニケーションワーク					4人でのグループワークでお互いに質問を投げかけられるようになる			
5	ハイパーQU/お客様体験事前学習					サロンの調べ方を知る			
6	3つの良い習慣					他者との違いを容認できるようになる			
7	お客様体験サロン研究					これまででできるようになったことを確認、認識し、サロンへの質問を考えることができるようになる			
8	コミュニケーション力向上の為のグループワーク/お客様体験振り返り					グループワークを通じて質問力を養う			
9	コミュニケーション力向上の為のグループワーク/目標設定					傾聴力、質問力、話し方を認識しながらグループワークを行うことができる			
10	SNS授業					SNSの活用方法の基礎を知る			
11	コミュニケーション力向上の為のグループワーク/ディズニー研修前ワーク					傾聴力、質問力、話し方を認識しながらグループワークを行うことができる			
12	自分年表作成、履歴書の書き方					自分年表を作成することができる、履歴書の基本的な書き方を理解する			
13	定期試験					定期試験100点			
14	全身写真撮り方/サロン見学方法					就職活動に必要な全身写真の撮り方を習得する			
15	ベルリンピックに向けての準備(クラス目標等の設定)					行事に向けてクラスで協力しながら競技や目標を決めることができる			
〔特記事項・授業時間外における学習〕 評価方法 履歴書:個人情報、学歴欄、資格欄が書けているか					〔成績評価の方法と基準〕 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 期末試験100点、(筆記試験)にて採点を行う。				

2026年度 シラバス

横浜ベルエポック美容専門学校

学科・コース		美容師科		学年	I	開講 区分	前期	担当教員	
授業科目名		ヘアメイクアップ						柳和江 永井克江	
必修 選択		必修		授業 形態		演習		時間数	60
〔授業の学習内容と心構え〕（実務経験のある教員・知見を有する教員がどのような授業を実施するのかを具体的に記載する）									
ヘアメイクアップアーティストとして20年実務経験のある講師から、サロンワークや撮影現場まで幅広く現場で求められる技術を基礎から応用まで習得します。									
〔到達目標〕									
本講座では、ヘアメイクの基礎技術だけでなく、現場で通用する実践的な力を身につけることを目指す。また限られた時間の中で仕上げるスピードや現場で求められる判断力・対応力も学ぶ。この授業を通して、「なんとなくできる」から「自信をもってできる」へとステップアップすることができるようにする。									
〔使用教材、参考文献等〕					〔準備学習・時間外学習〕				
授業内容によって異なるため授業内で確認									
回	〔授業概要〕					到達目標(できるようになること)			
1.2	授業説明・メイク道具説明・配置・スキンケア					メイク道具のセッティング、使い方、姿勢を理解しスキンケアの手順を学び実践する。			
3.4	スキンケア・ベース (FD・コンシーラー・PW)					ファンデーションの色選び、コンシーラーを使ったトラブルをカバー。ベースを仕上げる。			
5.6	スキンケア・ベース (FD・コンシーラー・PW)・アイメイク					ベースのおさらい、アイブロウの書き方、手順を理解し実践する。			
7.8	アイメイク・アイブロウ					アイメイクのおさらい、アイブロウの書き方、手順を理解し実践する。			
9.10	アイメイク・アイブロウ・チーク・ハイライト					アイメイクのアイブロウのおさらい、チーク、ハイライトの入れ方、位置を理解して実践する。			
11.12	リップ・TOTALメイクを仕上げる					リップの書き方、形を理解する。フルメイク完成を目指す。			
13.14	フルメイク60分タイム					フルメイク60分タイムを意識する。			
15.16	中間50					フルメイク60分中間テスト			
17.18	ヘア道具説明・配置・サイド三つ編み(表・裏)					ヘア道具のセッティング、使い方、姿勢を理解する。			
19.20	サイド三つ編み(表・裏) バックサイド(表編み込み)					ウィッグを使いスライス、三つ編み、編み込み技術の手順を学び実践。			
21.22	サイド三つ編み(表・裏) バックサイド編み込み(表・裏)					編み込み技術の手順を復習し、表編み、裏編みの違いを理解し実践。			
23.24	ピンニング・シニオンをつくる					ピンの種類や用途を学ぶ。シニオンを固定する。			
25.26	定期試験練習					定期テストの課題の練習			
27.28	定期試験50					今までのヘアの技術を取り込んだ定期テスト			
29.30	今まで学んだ技術を取り入れたヘアスタイルをつくる					今までの技術でワンスタイル完成を目指す。			
項・授業					〔成績評価の方法と基準〕				
					●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)				
					●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 中間試験50点、期末試験50点、演習にて採点を行う。				

2026年度 シラバス

横浜ベルエポック美容専門学校

学科・コース		美容師科		学年	I	開講 区分	前期	担当教員	
授業科目名		美容総合技術						八木杏樹 村松和哉 川島優輝	
		必修 選択		必修		授業 形態	演習	時間数	60
〔授業の学習内容と心構え〕（実務経験のある教員・知見を有する教員がどのような授業を実施するのかを具体的に記載する） 美容師免許を有し、美容室に5年以上勤務している教員が担当します。学生一人ひとりが美容室で求められるブロースタイリングテクニックを身につけられるよう、実践的な授業を行います。									
〔到達目標〕 美容室で求められるブロー、スタイリング、撮影（知識、技術、姿勢）を理解し習得して、ウィッグで技術を磨き、最後はモデル撮影をして現場で使えるフィニッシュワークを身につける									
〔使用教材、参考文献等〕 授業内容によって異なるため授業内で確認					〔準備学習・時間外学習〕				
回	〔授業概要〕					到達目標(できるようになること)			
1.2	授業説明 ウィッグカット ブロー					レディースのスタイリングが行いやすいベースカットを習得し、カットを行う			
3.4	コテ巻き(内巻き、外ハネ)					コテの内巻き、外ハネを習得し、コテの扱いができるようになる			
5.6	コテ巻き(フォワード巻き)					コテのフォワード巻きを習得し、ふんわりした髪型ができるようになる			
7.8	コテ巻き(リバース巻き)					コテのリバース巻きを習得し、くびれ巻きの土台をつくれるようになる			
9.10	コテ巻き(ウェーブ巻き)					コテのウェーブ巻きを習得し、くびれを作れるようになる			
11.12	コテ巻き(韓国巻き)					今までに習った基礎を活かし、くびれ巻きを完成させる			
13.14	中間テスト					コテ巻きスタイルを時間内に完成させる			
15.16	メンズベースカット					メンズのスタイリングが行いやすいベースカットを行う			
17.18	メンズセニング ブロー					メンズのスタイリングが行いやすいセニングを習得し、カットを行う			
19.20	メンズセット マッシュ(波巻き)					メンズマッシュの波巻を習得し、動きのあるスタイリングができるようになる			
21.22	メンズセット マッシュ(スパイラル)					メンズマッシュのスパイラルセットを習得し、人気のパーマ風スタイルができるようになる			
23.24	メンズセット センターパート					センターパートのブロー、スタイリングを習得し、流行りのスタイルが作れるようになる			
25.26	撮影前練習					撮影チームでコンセプトを決めて、撮影スタイルの練習			
27.28	撮影 定期試験					時間内でスタイリングから撮影までをできるようにする			
29.30	撮影発表会					撮影したスタイル写真を見せてコンセプトこだわりを発表できるようにする			
〔特記事項・授業時間外における学習〕					〔成績評価の方法と基準〕				
					●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)				
					●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 中間試験40点、期末試験60点、実技にて採点を行う。				